



環境活動レポート

対象期間：2016年6月～2017年5月

発行日：2017年10月20日



NKリサイクル 株式会社

代表取締役社長 佐藤憲壽



目次

・ 表紙	P 1
・ 目次	P 2
・ 組織の概要	P 3
・ 許可の内容	P 4
・ 処理フロー図	P 5
・ 環境運営組織図	P 6
・ 環境方針	P 7
・ 環境目標及び実績(中期目標)	P 8
・ 環境活動計画	P 9
・ 環境目標及び実績, 次年度の取組み	P 10
・ 受託した産業廃棄物の処理量	P 11
・ 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P 12
・ 代表者による全体評価と見直しの結果	P 12

1. 組織の概要

商号	NKリサイクル 株式会社	
代表者	代表取締役社長 佐藤 憲壽	
所在地(本社・工場)	〒190-1201 東京都西多摩郡瑞穂町大字二本木字東樽ノ口429番地1	
環境管理責任者	小橋 克史 (工場長/処理施設技術管理者・施設責任者)	
環境事務局	正) 富澤 英治 (事務職員/営業管理・安全運転管理・安全衛生委員・環境管理委員)	
	副) 鈴木 和美 (事務員/安全運転管理補助員)	
連絡先	電話: 042-557-7558 e-Mail: info@hi-tire.asia FAX: 042-557-7556	
事業内容	産業廃棄物処分業 (主に廃タイヤ/中間処理/破碎・切断)	
	産業廃棄物収集運搬業 (主に廃タイヤ)	
	製造業 (燃料用タイヤチップ)	
	古物商 (主に鉄・アルミホイール・中古タイヤの仕入販売)	
	販売業 (ゴムマット・その他ゴム製品の仕入販売)	
	保険代理店業 (生命保険、損害保険)	
事業規模	設立年月日 平成16年4月21日 (新資本体制 平成23年3月)	
	資本金 1,000万円 (全株・直江津海陸運送株)	
	年商 13,885万円 (平成29年5月期/第14期)	
保有車輛	トラック01号車: パン(いすゞ) 2,000kg 350×175×200 (12.3m ³)	
	トラック02号車: パン(いすゞ) 3,150kg 620×220×270 (36.8m ³)	
	トラック03号車: パン(トヨタ) 3,700kg 490×210×205 (21.1m ³)	
	トラック04号車: パン(マツダ) 2,000kg 440×208×275 (25.2m ³)	
	トラック05号車: パン(三菱) 2,950kg 624×203×206 (26.1m ³)	
	トラック06号車: パン(日野) 6,200kg 600×220×230 (30.4m ³)	
	トラック07号車: パン(いすゞ) 2,900kg 630×222×235 (32.9m ³)	
	トラック08号車: パン(UD) 3,050kg 550×210×220 (25.4m ³)	
	重機01: ハイマスト・ヒンジッド・バケット3.5t (TCMユニキャリア)	
	重機02: ハイマスト・ヒンジッド・バケット1.5t (TCMユニキャリア)	
	重機03: ロードグラブ・クランプ1.5t (TCMユニキャリア)	
	重機04: 電動カウンターフォーク0.9t (住友フォーク)	
	重機05: バックホウZX-70解体仕様機 [0.25] (日立建機)	
	従業員	役員 4名 (常勤取締役1名、非常勤取締役 2名、監査役 1名) 正社員 15名 (処分製造7名、収運営業4名、事務職員4名) 業務委託 2名 (シルバー人材)、請負 1名、下請 1名 合計23名 (平成29年5月31日現在)
	延床面積	2,810m ² (敷地面積5,122m ²)
電子マニフェスト	加入契約成立日: 平成24年3月28日加入者番号 3013896 加入区分 処分業者	
産業廃棄物処理量	処理物の種類: 廃プラスチック類 (主に廃タイヤ) 処理方式: 破碎、切断 処理能力: 221.1t/日 (破碎128t/16h/日・切断93.1t/24h/日) 実績 8,214t (2016年度)、7,468t (2015年度)、7,597t (2014年度)	
加入団体	全国中小企業団体中央会、瑞穂町商工会、瑞穂町栗原町内会、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(一社)東京都産業廃棄物協会	
認証・登録範囲	産業廃棄物の収集・運搬、産業廃棄物の中間処理、燃料用タイヤチップの販売、鉄および非鉄金属スクラップの販売、その他ゴム製品の販売、中古タイヤ・ホイールの仕入販売、損害保険代理店業務、生命保険代理店業務	

2. 許可の内容

産業廃棄物処分業許可

	許可番号	許可年月日	許可有効期限	事業の範囲
 東京都	第13-20-140609号	平成25年2月12日	平成30年2月11日	中間処理 (1)廃プラスチック類/破砕/128t/日 (2)廃プラスチック類(廃タイヤに限る) 切断/72t/日 (3)廃プラスチック類(廃タイヤ及び廃合成ゴム製品に限る) 切断/19.9t/日 切断/1.2t/日


産業廃棄物処理施設設置許可

	許可番号	許可年月日	施設の種別及び処理する産業廃棄物の種類	処理能力
 東京都	28環多産第25号 産施第10034号	平成29年2月20日 (変更許可)	廃プラスチック類の破砕施設	128t/日(16時間稼働)

廃棄物処理法第15条第2項適合通知

	通知番号	通知日	施設の種別	処理能力
 東京都	29環多産第14号	平成29年7月3日	廃プラスチック類の破砕施設	128t/日(16時間稼働)

建築基準法第51条ただし書許可

	許可番号	許可年月日	面積・棟数・構造	主要用途・建築場所
 東京都	28多建建三建第1459号	平成29年6月5日	敷地面積5,122.04㎡ 建築面積2,796.58㎡ 延べ面積2,849.06㎡ 棟数2棟	産業廃棄物処理施設 東京都西多摩郡瑞穂町大字二本木字東樽ノ口428番地1 東京都西多摩郡瑞穂町大字二本木字東樽ノ口428番地2 東京都西多摩郡瑞穂町大字二本木字東樽ノ口429番地1 東京都西多摩郡瑞穂町大字二本木字東樽ノ口430番地1

産業廃棄物収集運搬業許可

	許可番号	許可年月日	許可有効期限	事業の範囲
 東京都	第13-00-140609号	平成22年2月22日	平成32年2月21日	廃プラスチック類 ゴムくず 金属くず
 埼玉県	01100140609	平成22年7月5日	平成32年7月4日	廃プラスチック類、木くず、ゴムくず、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。) 及び陶磁器くず、がれき類
 神奈川県	01402140609	平成22年6月9日	平成32年6月8日	廃プラスチック類 ゴムくず 金属くず
 山梨県	01900140609	平成22年2月16日	平成32年2月15日	廃プラスチック類 ゴムくず 金属くず
 長野県	2009140609	平成22年5月21日	平成32年5月20日	廃プラスチック類 ゴムくず 金属くず
 群馬県	01000140609	平成22年7月7日	平成32年7月6日	廃プラスチック類 ゴムくず 金属くず
 福島県	00707140609	平成23年12月9日	平成33年12月8日	廃プラスチック類 ゴムくず 金属くず
 茨城県	00801140609	平成23年12月14日	平成33年12月13日	廃プラスチック類、木くず、ゴムくず、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。) 及び陶磁器くず、がれき類
 栃木県	00900140609	平成23年12月22日	平成33年12月21日	廃プラスチック類 ゴムくず 金属くず
 千葉県	01200140609	平成23年11月30日	平成33年11月29日	廃プラスチック類、木くず、ゴムくず、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。) 及び陶磁器くず、がれき類
 静岡県	02201140609	平成23年11月9日	平成33年11月8日	廃プラスチック類 ゴムくず 金属くず
 新潟県	0159140609	平成28年9月7日	平成33年9月6日	廃プラスチック類 ゴムくず 金属くず

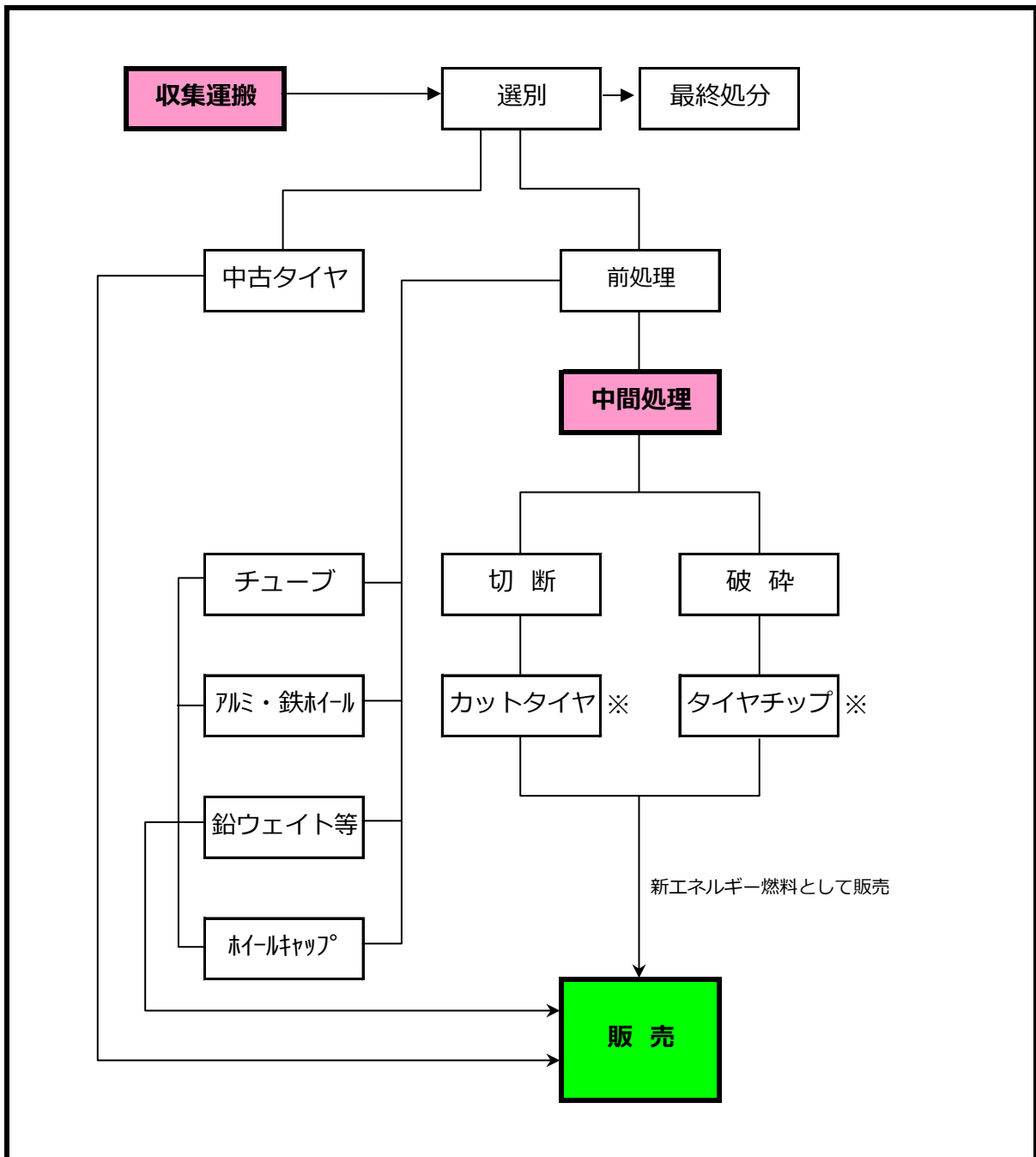
製造業認可

	認可日・年月日	認定日・年月日	検査年月日	業種
 東京都	28環多改工第26号 平成28年12月15日	29環多改届第39号 平成29年6月30日	平成29年6月23日	タイヤチップ製造業

古物商許可

	許可番号	許可年月日	区分
 東京都	308821104708	平成23年9月28日	自動車商

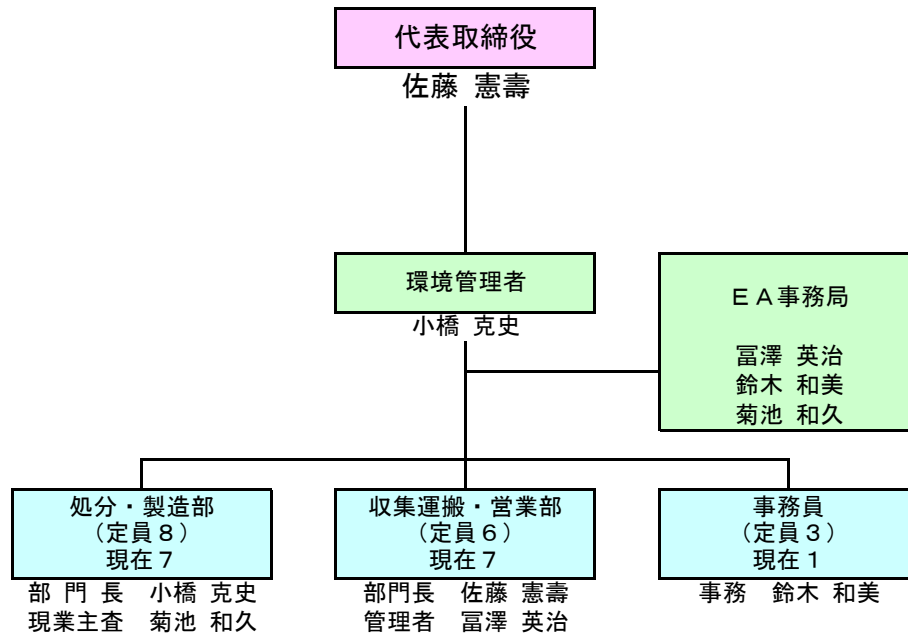
3.処理フロー図



※ 収集した廃タイヤはほぼ100%タイヤチップに加工後、石炭代替燃料としてバイオマスボイラーで利用

※ 廃棄物は原則、100%リサイクルし、販売すること。

4. 環境運営組織図



役割・責任・権限	
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する総括責任 ・資源調達（ヒト・もの・カネ） ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・環境管理責任者を任命 ・環境活動レポートの承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
EA事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開 ・環境活動実績の確認、評価
各部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・部門における環境方針の周知 ・部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成・試行・訓練を実施、記録の作成 ・部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境方針

環境方針

基本理念

当社は廃タイヤ処理等の事業により、電力・燃料を使用し、環境に負荷を与えています。

廃棄物処理技術の向上と、リサイクル事業の推進によって資源の有効利用に努め、持続可能な経済社会の実現に貢献します。

行動指針

1. 当社の全社員・全委託業者は環境保全活動に参加し、環境意識を共有します。
2. 関係法令、条例その他の要求事項を遵守します。
3. 環境管理項目のチェックと見直しにより環境経営を推進します。
4. 環境負荷の削減項目
 - (1) 温室効果ガス排出量（エネルギー使用量）
 - (2) 産業廃棄物中間処理後の最終処理委託量
 - (3) 自社排出ゴミ量
 - (4) 水使用量および工場排水量
5. ステークホルダーに対し、環境方針の理解と協力を求めます。
6. 環境方針と環境活動レポートはWEBにて公開します。

制定日：平成27年6月1日

改訂日：平成29年9月1日



代表取締役社長 佐藤憲壽

6. 環境目標及び実績(中期目標)

			短期目標		中期目標				
取組項目	評価単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
		基準年	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標
総二酸化炭素排出量(合計)	kg-CO2	207,757	214,144	226,945	224,629	251,629	263,513	275,092	286,366
	t-CO2/t	25.45	25.19	24.94	23.16	24.43	24.18	23.92	23.67
	年度比	100%	99%	98%	97%	96%	95%	94%	93%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	ℓ	40,271	42,100	44,696	46,690	51,030	53,865	56,629	59,322
	ℓ/t	7.09	7.02	6.88	6.67	6.80	6.73	6.66	6.59
	1t当たりの年度比	100%	99%	98%	97%	96%	95%	94%	93%
重機燃料の二酸化炭素削減	ℓ	9,453	9,744	10,223	10,570	11,449	11,990	12,517	13,030
	ℓ/t	1.16	1.15	1.12	1.09	1.11	1.10	1.09	1.08
	1t当たりの年度比	100%	99%	98%	97%	96%	95%	94%	93%
電力使用による二酸化炭素削減	kWh	166,519	171,639	180,079	186,194	201,683	211,208	220,489	229,525
	kWh/t	20.40	20.19	19.79	19.20	19.58	19.38	19.17	18.97
	1t当たりの年度比	100%	99%	98%	97%	96%	95%	94%	93%
処 理 量	t	8,164	8,500	9,100	9,700	10,300	10,900	11,500	12,100
内) 収運量	t	5,682	6,000	6,500	7,000	7,500	8,000	8,500	9,000
内) 収運外	t	2,482	2,500	2,600	2,700	2,800	2,900	3,000	3,100
一般廃棄物の削減	kg	768	760	753	745	737	730	722	714
	1kg当たりの年度比	100%	99%	98%	97%	96%	95%	94%	93%
水使用量削減	m ³	393	389	385	381	377	373	369	365
	1m ³ 当たりの年度比	100%	99%	98%	97%	96%	95%	94%	93%
グリーン購入の推進	品目	実績把握	目標設定	手順書作成	購入記録表作成	推進	"	"	"

二酸化炭素排出係数=0.530kg-CO2/kWhを使用した

7. 環境活動計画および評価

項目	環境目標項目	主な環境活動計画の内容	評価
温室効果ガス排出量削減	トラック燃料による二酸化炭素排出量の削減	・ 車両エコドライブの推進	×
		・ 車両管理の徹底	△
	重機燃料による二酸化炭素排出量の削減	・ 重機燃料削減手順書作成	◎
		・ 重機アイドルストップ	◎
		・ 重機管理の徹底	◎
	電力使用による二酸化炭素排出量の削減	・ 空調温度の適正 (冷房28℃、暖房20℃)	△
		・ パソコン、プリンタは省電力モードに設定	△
		・ 不要な照明・箇所は消灯する (工場)	○
		・ 不要な照明・箇所は消灯する (事務所)	○
水使用量削減	水の効率的利用 日常的な節水 排水処理の管理	・ 節水の呼びかけ	○
		・ 漏水を定期的に点検する	○
		・ トラックの洗車を最小限に留める	×
一般廃棄物削減	省資源・適正処理	・ 社員への周知	△
		・ ペーパーレス化に取り組む	○
		・ ゴミの分別を行なう	○
		・ ゴミを会社に持込まない	×
		・ 裏紙をなるべく使う	○

◎・○・△・× (目標値に対する達成度、取組み内容の適切性、スケジュールに対する進捗度、責任者・実施者の積極性など総合的に評価する)

8. 環境目標及び実績/次年度の取組み

項目						短期目標	
取組項目	評価単位	2014年度	2015年度	2016年度		2017年度	次年度の取組み
		基準年	目標	目標	実績	目標	
総二酸化炭素排出量(合計)	kg-CO2	207,757	214,144	226,945	262,722	224,629	2016年度は121%と悪い成績。とりわけ軽油の使用において収運作業員の監視を強化するためデジタコ監視、電気量は設備の廃棄等、経営側も協力姿勢なので、各責任者は環境経営に一層協力し97%を達成すること。
	t-CO2/t	25.45	25.19	24.94	30.13	23.16	
	年度比	100%	99%	98%	118%	97%	
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	ℓ	40,271	42,100	44,696	52,819	46,690	通信型デジタコの導入により、不要なアイドリングやスピード違反を即時発見することができるようになったが、営業目標が達成できないにもかかわらず、環境目標(軽油使用量)は目標を大きくオーバーした。デジタコをしっかり活用し、社長が陣頭に立ち、この事態を早急に正常化するとともに、安全運転管理者の養成・社員教育を徹底していく。(収運営業部)
	ℓ/t	7.09	7.02	6.88	8.84	6.67	
	1t当たりの年度比	100%	99%	98%	125%	97%	
重機燃料の二酸化炭素削減	ℓ	9,453	9,744	10,223	7,855	10,570	継続的な環境活動により、想像以上に効果が現れてきました。また新規フォークリフトの導入にあたり電動式を採用し、環境に配慮しました。さらに効率的な直接投入作業により、長期目標も達成できるよう、継続していきます。(処分製造部)
	ℓ/t	1.16	1.15	1.12	0.90	1.09	
	1t当たりの年度比	100%	99%	98%	78%	97%	
電力使用による二酸化炭素削減	kWh	166,519	171,639	180,079	173,559	186,194	2016年度は116%と目標をオーバーしてしまいましたが、分離破砕機を10月に転売予定であるので、大型モーター2基が停止する計算によって2017年度は達成が見込まれる。無駄な電力を使わないよう声をかけあって節電に努めること。
	kWh/t	20.40	20.19	19.79	19.90	19.20	
	1t当たりの年度比	100%	99%	98%	98%	97%	
処理量	t	8,164	8,500	9,100	8,720	9,700	2016年度は処理実績前年対比106%であるが、目標対比は96%と低迷。2017年度は破砕能力を3倍、トラック2台を増車、人員も増員済なので収運先新規開拓強化し、目標の9,700tをクリアすること。
内) 収運量	t	5,682	6,000	6,500	5,978	7,000	
内) 収運外	t	2,482	2,500	2,600	2,742	2,700	
一般廃棄物の削減	kg	768	760	753	960	745	持ち込み(社員・搬入搬出業者とも)の監視徹底、持ち込んだモノがゴミになったらもって帰らせることが徹底されていないことにより、目標を達成できていない。各部門において、排出前にも持って帰らせるように指導すること。
	1kg当たりの年度比	100%	99%	98%	128%	97%	
水使用量削減	m ³	393	389	385	445	381	水を出しっぱなしの洗車方法を改善するため、収運作業員に、洗車手順や節水ホースノズル使用方法の再教育を行う。
	1m ³ 当たりの年度比	100%	99%	98%	116%	97%	
グリーン購入の推進	品目	実績把握	目標設定	手順書作成	推進	購入記録表作成	引き続きグリーン購入対象製品のみ購入すること。

二酸化炭素排出係数=0.530kg-CO2/kWhを使用した

9. 受託した産業廃棄物の処理量

(2016.06-2017.05)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 (t)	
(i) 収集運搬	廃プラスチック類		6,006	
	金属くず		0	
収集運搬量合計			6,006	
(ii) 中間処理	廃プラスチック類	選別・破碎	8,720	
内、 再資源化等	廃プラスチック類	破碎・切断（発生ベース）	8,600	
	金属くず	分別	55	
	中古タイヤ	選別	65	
	再資源化等量小計			8,720
中間処理合計			8,720	
(iii) 最終処分				
最終処分量合計			0	
(iv) 中間処理後の産業廃棄物	最終処分			
	再資源化等	廃プラスチック類	燃料として利用（売却）	8,600
		金属くず	分別後（売却）	55
		中古タイヤ	選別後（売却）	65
再資源化等量小計			8,720	
中間処理後処分量合計			8,720	

10. 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

弊社に適用される環境関連法規制等は「法規制その他要求事項一覧」に取り纏め、平成29年10月6日に遵守性を確認しました。

【平成26年11月04日、工場において発生した事故について】

平成27年03月31日、1. 業務上過失致死 2. 労働安全衛生法違反被疑事件として、当時の代表取締役（平成27年4月16日辞任）が書類送検されました。

【結果】

1. 業務上過失致死事件：不起訴処分
2. 労働安全衛生法違反：略式命令罰金20万円
（破碎機メンテナンススイッチの不備）

平成29年9月13日 東京地方検察庁立川支部

※本結果に関して、廃棄物処理法上の欠格要件には該当いたしません。

今後も安全衛生推進者、廃棄物処理技術管理者、安全運転管理者を中心に安全管理に努めてまいります。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)
自動車燃料の削減	123%	×	陣頭指揮により徹底改善を実行する。
重機燃料の削減	78%	◎	目標達成。今後も継続
電力使用量削減	98%	○	目標達成。今後も継続
一般廃棄物削減	128%	×	持込ゴミの徹底監視をする。
水使用量削減	116%	×	バルブを絞り、洗車はバケツを徹底
グリーン購入の推進	-	○	購買品は対象商品から選定している。

【総括】

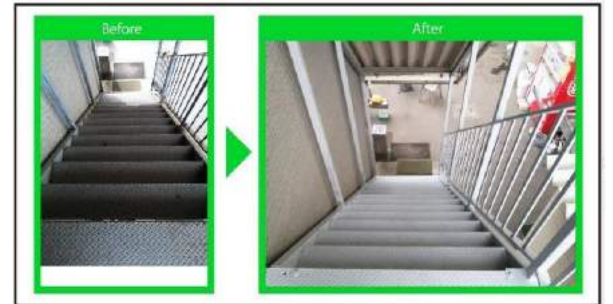
- ・速度超過は、安全運転管理者が、日報による違反チェックと忠告を行っていたが、安全運転管理者の指示をきかない収運作業員がいるため、デジタコ警報発生ごとに安全運転管理者、同補助員により即時車両に連絡を入れさせるとともに、違反者の帰社後は口頭ではなく書面をとって戒め、私自ら陣頭指揮を執って法令遵守を徹底する。
- ・水使用量削減のため、手順書を見直して取り組んでいくこと。
- ・新規社員については先輩たちが指導し、全社一丸となって教育訓練を実施する。
- ・今後も継続して訓練を実施し、手順と記録管理も徹底させる。

【トピックス】

本年7月ごろまでの約1年をかけ、設備増強と都計審の開催、申請協議の結果、当社の処理能力は3倍以上に増強された。これにともない瑞穂町および町内会・周辺企業に対し私と会社幹部により説明会と工場見学会を開催した。今後も町内行政及び周辺と密接な関係を築きながら、地域の安心と安全に貢献していく。開催結果としては、ご意見をもとに交通安全について正門に「止まれ」表示と「カーブミラー」の設置を行った。また、町内会にも入会したので随時情報交換を行い、従業員にも周知・共有を図ります。



環境活動 イメージフォト



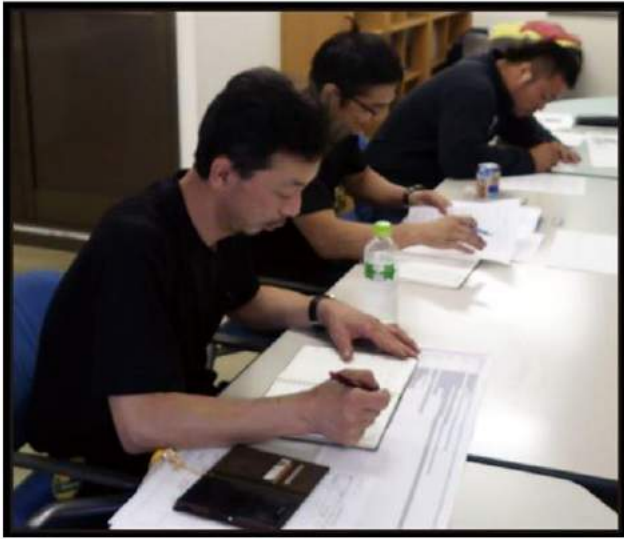
【重機点検強化月間】
 弊社の重機（4台）は、毎日の日常点検により、各オイル、冷却水等のチェック、調整作業を行い、常にベストコンディションでの運転業務ができるように心がけております。



施設稼働時の環境影響数値は定期的に測定し、評価を行っています。
 写真は騒音計と振動計です。



環境活動 イメージフォト



トイレの衛生環境
あまりに汚かった工場事務所のトイレを、専用スリッパ+掃除当番（+完了チェック）+おそうじシートBOX設置により、衛生対策しました。



月初は朝礼・KYの後「安全当番」を実施。
安全衛生推進者・職長及び総務の立会いで「非常停止装置」「消防設備」の作動チェック、その他排水設備等の管理状況をチェック。その後TBMを行ってから定常業務にはいります。



環境活動 イメージフォト

「エコアクション2.1（環境省環境規格）」の2年目の活動内容について、中間審査を受審しました。今後も事業所や工場の様々な問題の改善に取り組んでまいります。「環境活動レポート」の公表は年末頃を予定しています。



正門に「止まれ」表示をペイントしました。地域の交通安全に貢献します。



DIGITAL LUX METERを購入しました。主要作業場の足元は、労働安全衛生法（23/604）による照度を確保していますが、倉庫・一部工作スペース等に暗い場所もありますので、段階的に「作業環境」を改善してまいります。（総務）

